



～フジシールグループ 環境への取り組み～ ラベルtoラベル

2025年11月17日

株式会社フジシール シュリンク事業本部

工法・包装技術センター 工法技術部 新技術工法包装課

吉田 寛

発表内容

1.当社紹介

- ・わたしたちのビジョン・ミッション
- ・会社概要

2.環境への当社の取組み

- ・パッケージの役割
- ・当社の環境配慮型製品

3.ラベルtoラベル

- ・ラベルtoラベルについて
- ・設備、インキ脱離、技術要素の課題
- ・再生材量産化ステップ

発表内容

1.当社紹介

- ・わたしたちのビジョン・ミッション
- ・会社概要

2.環境への当社の取組み

- ・パッケージの役割
- ・当社の環境配慮型製品

3.ラベルtoラベル

- ・ラベルtoラベルについて
- ・設備、インキ脱離、技術要素の課題
- ・再生材量産化ステップ

わたしたちのビジョン ～ありたい姿～

人と環境にやさしい価値を届ける

- パッケージング市場で持続的成長
- 持続可能な社会の実現に貢献する会社
- ワクワクを創る会社 ～ワクワクなしに成長なし～

わたしたちのミッション

パッケージングを通じ、

すべての人が笑顔で安心して暮らせる

循環型社会・持続的社会の実現に貢献します

フジシールの製品と強み

シュリンクラベル



シュリンクラベル
国内シェア
60%

タックラベル



パッケージ提案だけではなく
お客様の生産をサポートする機械の開発・提供まで
一貫して対応

ソフトパウチ



自動包装機械



会社概要

欧州

オランダ
イギリス
フランス
スペイン
ドイツ
ポーランド
イタリア



南アジア
インド

日本

米州
アメリカ
メキシコ

アセアン
タイ
ベトナム
インドネシア

世界14カ国31拠点へのグローバル展開

創業

128年

資本金

約60億円

従業員数(連結)

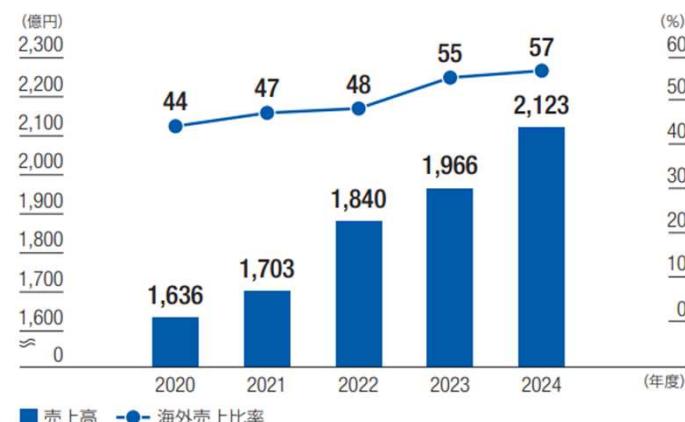
5,639人

上場区分

プライム市場

(2025年8月時点)
※当社調べによる

売上高／海外売上比率



 Fuji Seal

Copyright 2025 Fuji Seal Group

発表内容

1.当社紹介

- ・わたしたちのビジョン・ミッション
- ・会社概要

2.環境への当社の取組み

- ・パッケージの役割
- ・当社の環境配慮型製品

3.ラベルtoラベル

- ・ラベルtoラベルについて
- ・設備、インキ脱離、技術要素の課題
- ・再生材量産化ステップ

パッケージの様々な役割

【機能面】

- 下地(再生ボトルの着色等)を隠す
- 容器機能の補完
(容器のリサイクル性向上
消費期限延長 : フードロス削減)
 - 断熱
 - 遮光
- 表示面積拡大

【加飾面】

- 商品・ブランドの差別化
- わかりやすい商品メッセージ
- デザインのフレキシビリティ



シュリンクラベル



タックラベル



ソフトパウチ

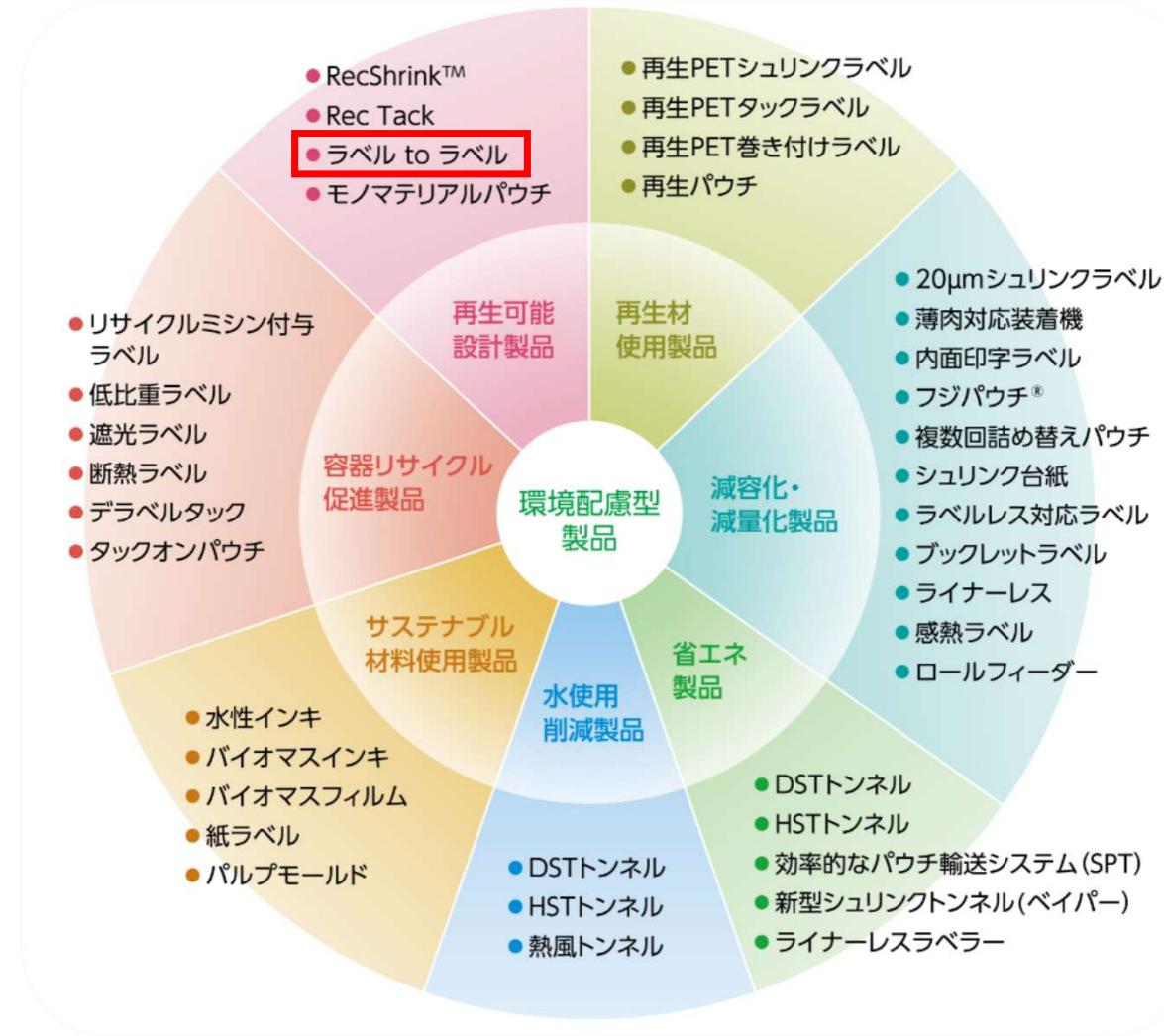
【安心・安全面】

- 封緘
 - 改ざん防止
 - バージン性確保
- 保護(衝撃・ほこり)
- 商品情報
 - 賞味期限
 - 保存方法

【管理面】

- 容器形状統一化
 - 容器在庫縮減
 - 輸送効率向上
- 改版リスク軽減

フジシールグループの環境配慮型製品



発表内容

1.当社紹介

- ・わたしたちのビジョン・ミッション
- ・会社概要

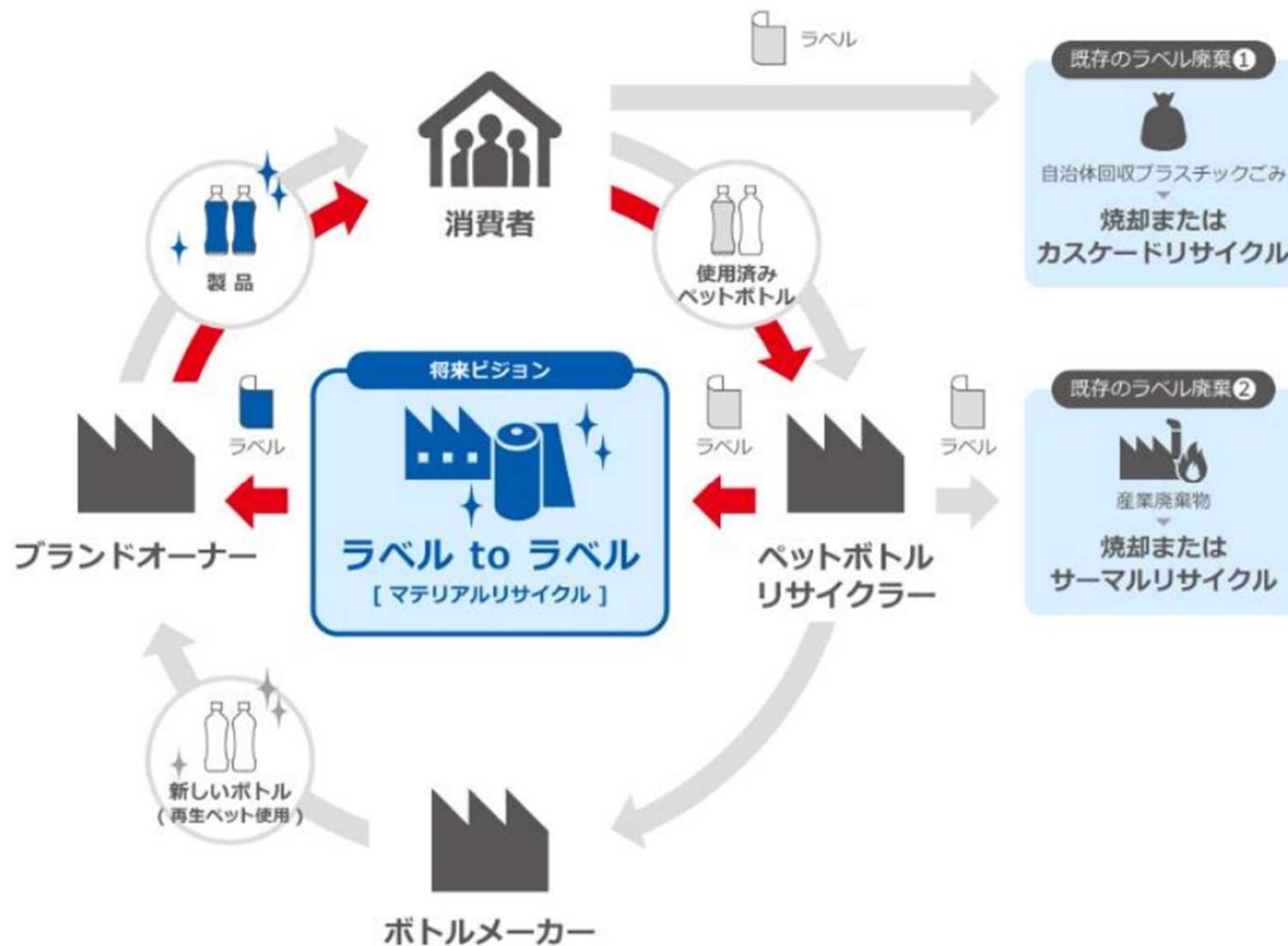
2.環境への当社の取組み

- ・パッケージの役割
- ・当社の環境配慮型製品

3.ラベルtoラベル

- ・ラベルtoラベルについて
- ・設備、インキ脱離、技術要素の課題
- ・再生材量産化ステップ

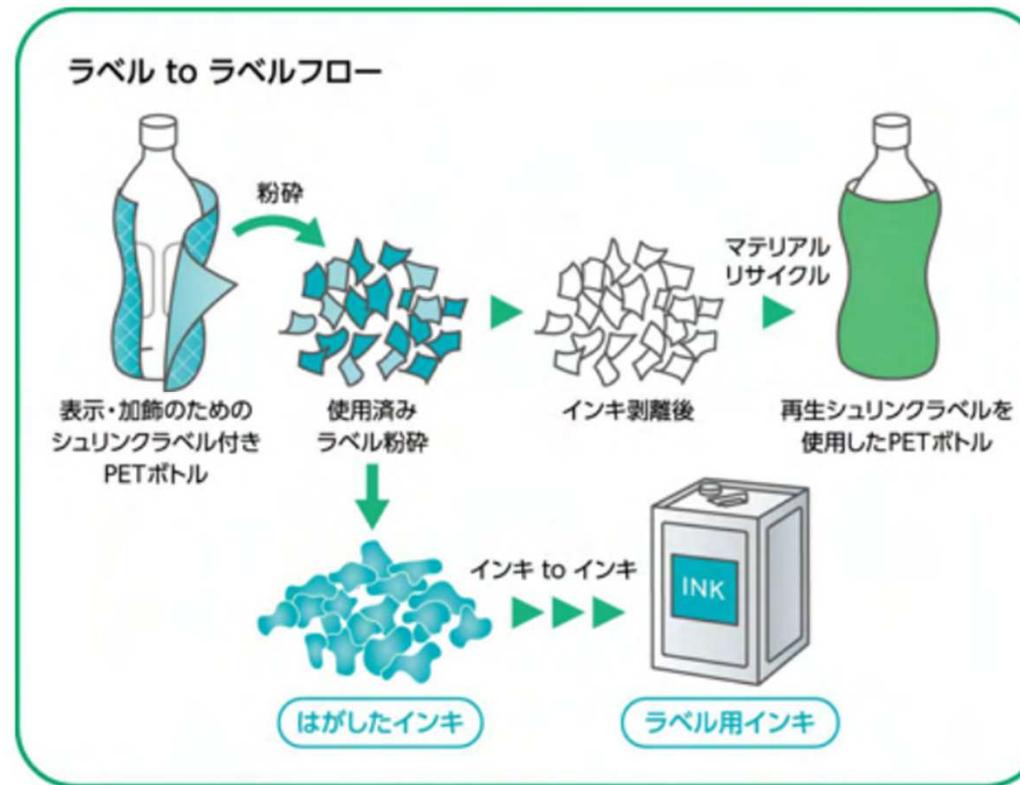
ラベルtoラベルのコンセプト



ラベルtoラベルについて

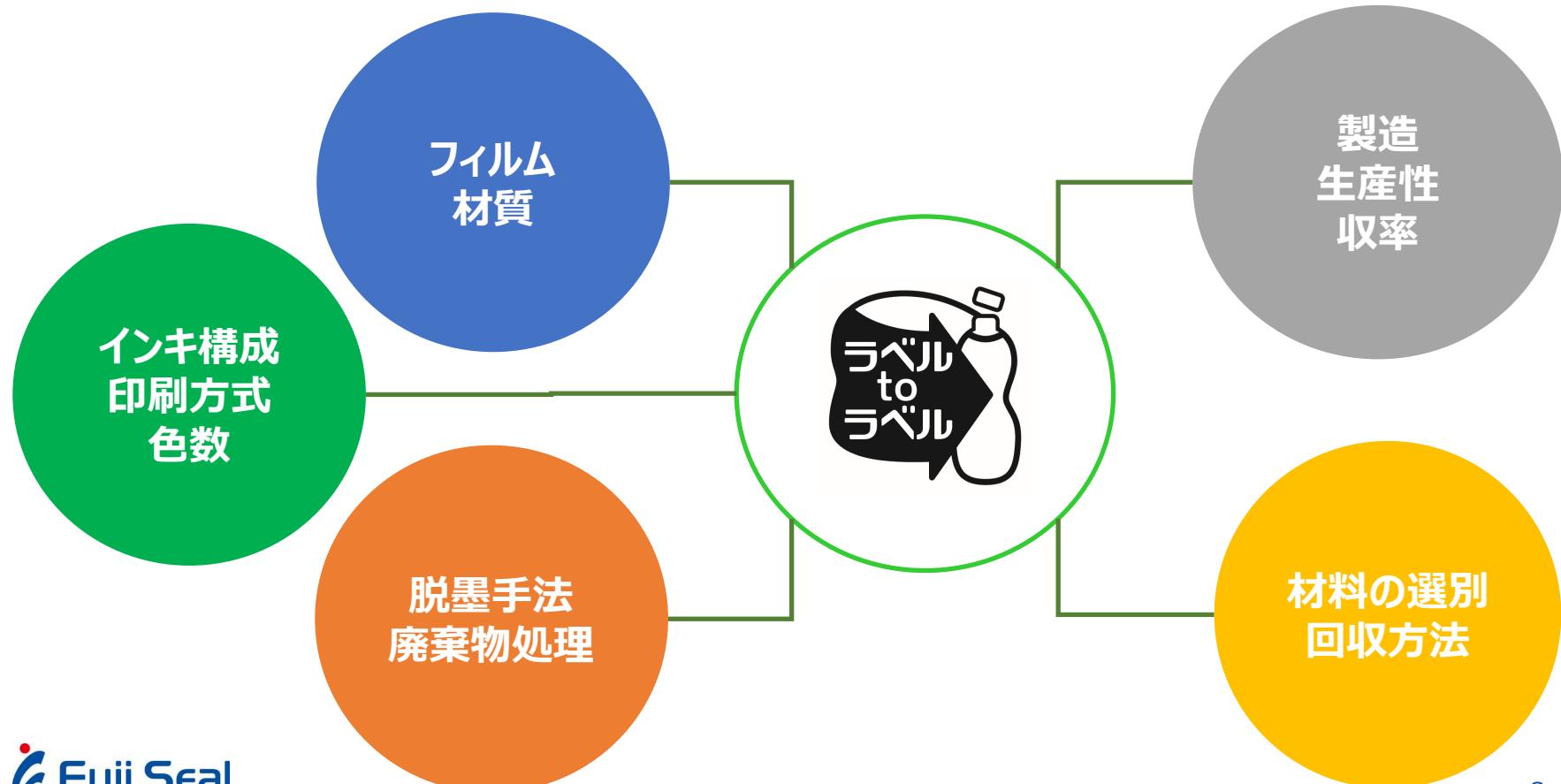
➤ ラベルtoラベル = ラベルの水平リサイクル

- ✓ 2021年よりパートナー企業と シュリンクラベルの水平リサイクルについて、取り組みを開始
- ✓ この考えにご賛同いただいたブランドオーナー、リテラー、自治体のご協力もあり、2022年以降、シュリンクラベルの市場回収並びにシュリンクラベルへの再利用の取り組みを進めています



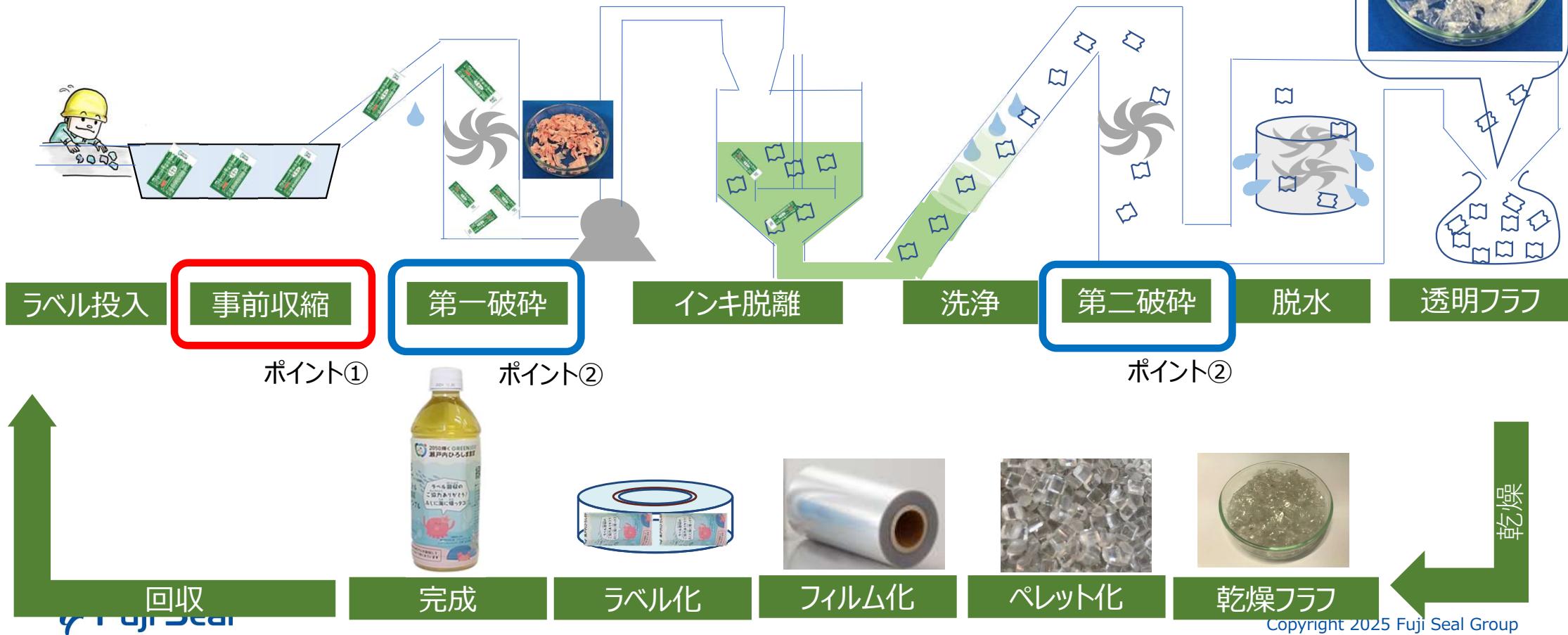
リサイクルの課題

インキ脱離技術の開発、回収の実証実験 → 量産化の段階へ



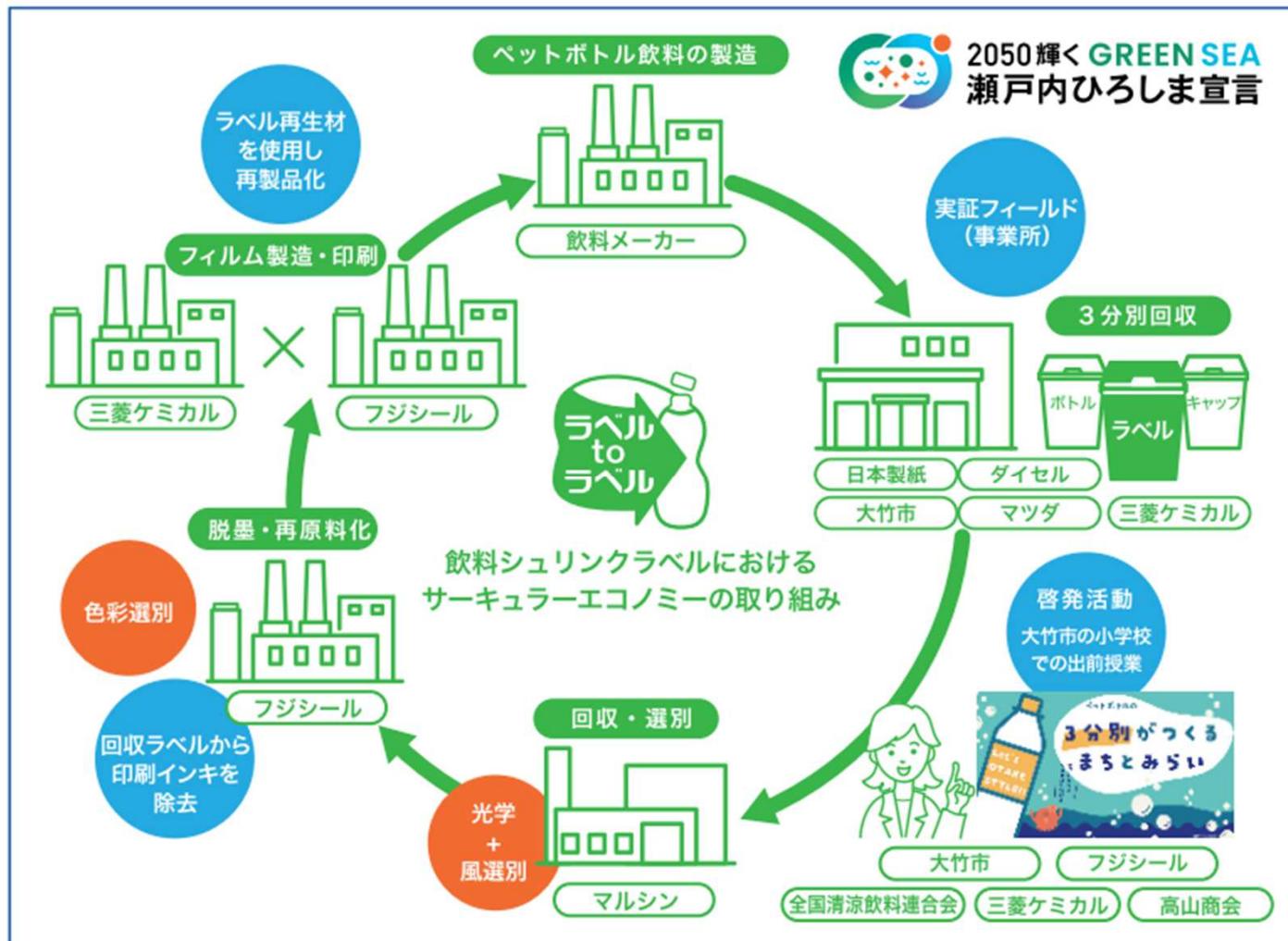
フジシール資源循環検証場_ラベルリサイクルの工程

シュリンクラベルのインキ脱離～ラベル化までの流れ



Copyright 2025 Fuji Seal Group

広島県でのラベル回収実証実験



ラベルtoラベルの課題解決

- ①リサイクルできるラベルの制約を減らすために
- ②ラベル材質に応じて再利用するため
- ③リサイクル工程で排出される廃棄物を減らすため

新しい脱離手法の有効性を確認
選別技術の有効性を確認
インキtoインキのラベル実装

<市場回収品の光学選別機利用による対象材質の分別とインキ脱離結果>



回収ボックス
小学生の資源循環への想いが詰まったイラスト付き



回収ラベル
多様なデザイン・材質のラベル



抽出された対象材質のラベル
光学選別により抽出された対象材質ラベル
色相から選別技術および新しい脱離手法が有効であることを確認



インキ脱離後の再生ラフフ
色相から選別技術および新しい脱離手法が有効であることを確認



再生フィルム
三菱ケミカル㈱にて、再生シーリングフィルムを製造
新プロセスで得られた再生材を用いても
適切な物性を保持

①新しい脱墨手法

②選別技術の有効性を確認

③インキtoインキのラベル実装

このラベルはラベルの水平リサイクル実現に向け、大竹市内の小学校4年生が中心となり学校や事業所内で回収したラベルから作られました。
また、ラベルからはがしたインキをラベルに使用するインキtoインキも実施しています。
ラベルだけでなく、インキの再利用により、資源の有効活用だけでなく、温湿度効果ガス削減にも取り組んでいます。



手書きイラストを追加いただき
完成したオリジナルラベルを教室でPETボトルに装着し、資源循環を体感

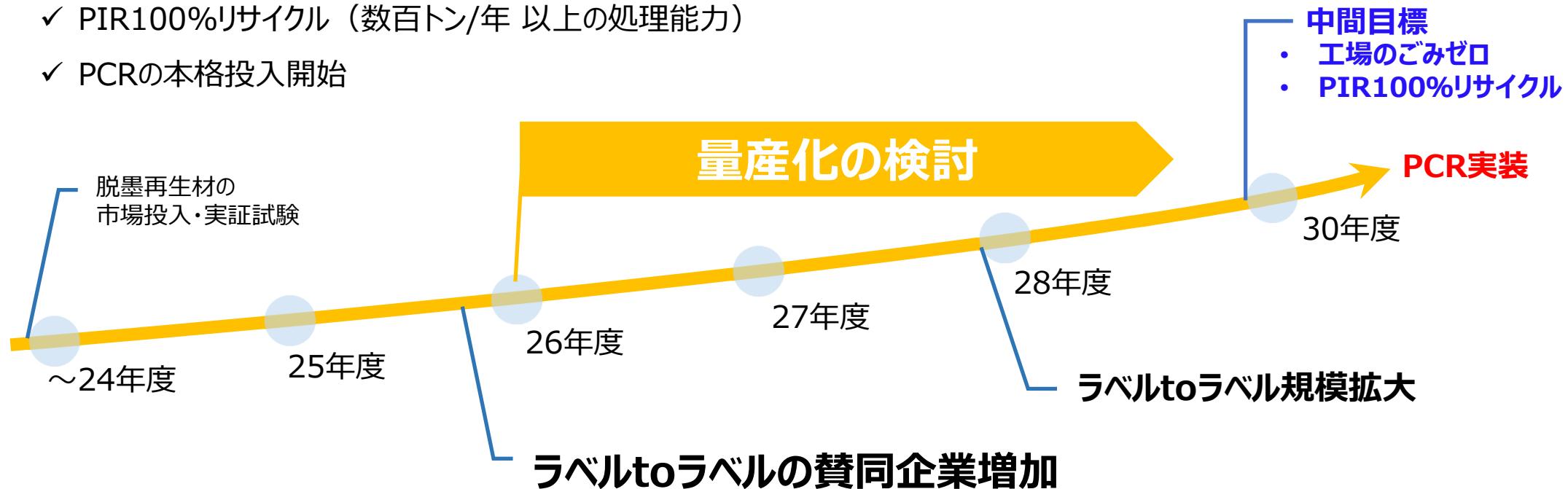
回収されたラベル由来のフィルム・インキを用いて製造された GSHIP 限定ラベル

ラベルtoラベルのロードマップ案

● 2030年の社会実装を目指します

<2030年の目標>

- ✓ 工場のごみゼロ
- ✓ PIR100%リサイクル（数百トン/年 以上の処理能力）
- ✓ PCRの本格投入開始



最後に

ワクワクする持続的社會を
実現させていきます

